



アクト

NO. 52

名古屋市演劇練習館機関紙

エッセイ

「声の訓練」



「女の平和」
すにい企画公演
'04年5月7日～9日
名古屋市千種文化小劇場にて

「声の訓練」とは、大きな声を出すことだけ、と考えている人が大多数だと思う。特に役者のそれにおいては、そうではあるまい。与えられた役を、役の要求する声で表現し、そして、それらを観客に届け、観客の芝居へのイメージを喚起させ、劇的空間を共用し、異次元の世界にいざなう。

そのための訓練である。

よく、演劇の練習生、もしくはすでに舞台上で活躍(?)している人達が、口にするのが「声だけの訓練をする余裕がない、時間的にも経済的にも。それに、役者は感情開放の訓練が一番大切だと思うから」と。

では、あなたがたは、その訓練によって与えられた役をまっとうしたことがおありか？ 声によって、役の感情が開放される感覚をお持ちになったことは？ と、問いたい。

「感情の開放」ということが、至極当たり前前に役者の訓練の最高峰のように唱えられる。そして、それらのためのメソッドが山のようにある。仮に役を演じている最中にそれら「感情の開放」を持ったとしても(一人よがりの演技をそれと誤認してる役者もいるが)、それがどこから得られたか、理解出来ない役者が大勢を占める。誤解を恐れず、私は云いたい！一定の範囲を持って、「声」が「役の感情」を表出したからだ。そして、訓練の出来ていない役者が、それらを表出

金 末順 (ボイスワークショップすにい主宰)

させた時、必ず、声を震らす。逆をいえば、感情を表出できない役者は「声を震らす」などという事態は例外を除いては、まず起きない。(巷の「声を震らしてる」人々は、むやみに大声を出し、声帯に多大な圧を与え、声帯が炎症を起こし、声帯ヒダが閉じなくなって、息がもれ息声になっているという現象だと思う)

上演舞台上に呼気のエアポケットが出来る。熱い物で満たされているはずの舞台空間に、ひやかな空間が生まれる。

それらが何故生まれるのか？

それは、演者の呼気が交流していないことによって起きる。

人間は呼気によって、互いの存在を確かなものにしていく。

「声」は呼気の産物です。

「声、言葉」を呼気にしっかり乗せて、相手に観客に届ける。それによって呼気の交流が起こり舞台上の空気が熱く動きだす。そして、役者と観客の呼吸のコラボレーションによって、劇場そのものが呼吸する生き物となって、さらなる劇的空間へとたかまらせる。

「声」の訓練とは、確かな呼吸とそれを造る身体の訓練でもあると、そしてそれによって生まれた「声と言葉」に乗せる2音目の感性へのこだわりだと考えてます。

トピックス

明治村の教会で、「秋のうた」を描く

尾木 繁俊 (劇団プレゼント)



'06年11月23日 劇団プレゼント明治村公演
音楽劇「秋のうた、祭りの音」の
バイオリン、チェロ、ギターの練習風景

犬山市にある博物館明治村。失われていく近代建築を緑豊かな丘陵地に保存した、チョッと大人のテーマパーク。私が「明治村・聖ザビエル天主堂」での音楽劇をつくった経緯をお話するには、初めに「まちなか芸遊祭」について触れる必要があります。

東京に本部がある日本演出者協会には、愛知県の会員が中心の「東海ブロック」があります。その日本演出者協会東海ブロックが、毎年秋に主催するのが「まちなか芸遊祭」。「演出者の現場は、劇場だけではない」を合言葉に、「まちなか」での表現活動を実践する芸術イベント。名古屋市内に現存する旧・豊田佐助邸や榎木倶楽部など、大正から昭和初期の佇まいを残す建物で、その持ち味を活かした演奏や演劇を行います。我々劇団プレゼントも今年から「まちなか芸遊祭」に参加することになったのです。

何ととっても、会場選びが「まちなか芸遊祭」の肝。脳裏に浮かんだのは、明治村の教会でした。「聖

ヨハネ教会堂」や「聖ザビエル天主堂」といった国内有数の教会建築で公演する、その思いが私を動かしました。急いで明治村事務所に秋季イベント組み入れを申し込むものの、回答がなかなか返ってこない。そこで、明治村の村長が俳優の小沢昭一さんであることを思い出し、小沢村長が日本演出者協会会員であったことを強力にアピール。その甲斐あってか(?)、まもなく「聖ザビエル天主堂」の使用と秋季イベント参加が決まりました。

今秋の明治村イベントテーマは「村の秋祭り」。これに沿って、音楽劇「秋のうた、祭りの音」を書きました。秋の風情を美しく歌った「赤とんぼ」「紅葉」「里の秋」といった童謡・唱歌をもとに、心かよう家族の姿を描いたものです。公演は11月23日「勤労感謝の日」で、ちょうど紅葉の美しいころ。音楽劇を楽しむ家族がふと外を見ると、目の前に「秋の夕日に照る山もみじ」が広がっている…。そんな一瞬を演出したいと思っています。

アクテノン・シャワー

■ アクテノン シニア演劇部発表会「いっぼんのキ」

原作：北村 想 潤色・演出：田 典彦

6月から始まったシニア(50代～60代)のための演劇教室「アクテノン シニア演劇部」発表会をいよいよ開催いたします。現代劇の役者体験は、ほぼ初めての受講生たちが、名古屋を代表する劇作家北村 想氏の作品を、これまた名古屋を代表する劇団B級遊撃隊の田 典彦氏の演出により一生懸命演じます。みなさま、是非、客席から応援してください。



アクテノン
シニア演劇部の皆さん

日 時：12月15日(金) 19:00
16日(土) 14:00
会 場：中村文化小劇場
料 金：無料
問い合わせ：演劇練習館アクテノン
TEL 052-413-6631

■ 「劇団ちゃりんこの世界展」のお知らせ!!

劇団創立10周年を迎えた「劇団ちゃりんこ」の軌跡を、台本や衣装、小道具、写真などを展示し、紹介いたします。ぜひ皆様のご来館をお待ちしております。

場 所：名古屋市演劇練習館アクテノン
1階 資料コーナー
期 間：平成19年2月4日(日)～3月3日(土)
※月曜日は休館日(ただし、2/12は開館し、翌日2/13を休館致します。)
入場無料 (※公共交通機関でお越し下さい)

アクテノン利用団体紹介

①発足年 ②団員数 ③主な上演作品/会場(上演年) ④代表者名、住所、電話

演劇 劇団MICHI



限り有るこの世界で無限の壊楽を求め、快楽を得る。その為に未だ知らぬ道走り続ける。そんな劇団MICHI。2006年4月に旗揚げをし、10月に番外公演を打った。その後続くのは第2回公演。3月に大須の七ツ寺共同スタジオで行います。火の玉を心に宿して劇団MICHIは走ります。駆け抜けます。ぜひ皆様に足をお運び頂き、私達の芝居を観て感じて頂けたらと思います。

①2005年 ②6名
③FIRE BALL/G/pit('06)
14歳の国/翔UPファクトリー('06)
④藤代行靖
☎(090)4865-9773

アクテノンに一言 いつもお世話になっています。広い練習室や多彩な設備があり、稽古がしやすいです。また、夜遅くまで利用できるので大変助かっています。これからもよろしくお願ひします。

演劇 GAM



「GAMって何の略？」昨年末の結成当初はよく聞かれたものです。そんなGAMも結成から一年が過ぎ、ありがたい事に二度目の企画公演を行うことになりました。12月22・23日、GAMクリスマス企画公演。とびきりのプレゼントを皆様にお届けするために、参加メンバー一同頑張っております。ちょっとだけ早いクリスマスプレゼントを是非G/pitまで足を運んで受け取って頂きたいです。今回の僕達の合言葉は「G」がんばる「A」あなたに「M」メリークリスマス！御来場お待ちしております。

①2005年 ②?名
③椿鬼/G/pit('06)
④中嶋隼都

アクテノンに一言 いつもありがとうございます。アクテノンには思い出がいっぱいつまっています。僕らの汗と涙もいっぱいつまっています。みんなの夢と希望もいっぱいつまっています。そんなアクテノンが大好きです。

公演のご案内

★アクテノンの利用団体の公演をご案内します。 ①会場 ②日時 ③料金 ④問合せ先

スーパー一座公演 大須師走歌舞伎 『将門伝説後日の旗上』	① 大須演芸場(地下鉄鶴舞線大須観音駅2番出口より徒歩3分) ② 12月1日(金)～23日(土) 昼の部 1:00開演、夜の部 7:00開演(休演日有) ③ 前売 3,800円(当日4,000円) ④ ☎052-262-2661 必見! 25年ぶりの再演。ロック歌舞伎の名を生んだスーパー一座の原点がここにある。
第5回AAF戯曲賞受賞作 『地蔵さんが転んだ』	① 愛知県芸術劇場小ホール ② 12月8日(金) 7:00、9日(土) 1:00 6:00、10日(日) 2:00 ③ 一般2,200円(当日2,500円) 学生1,500円(当日1,800円) ④ (財)愛知県文化振興事業団 ☎052-971-5609 第5回AAF戯曲賞に選出された松田清志の作品を西田シャトナーが演出!
ALK-THEATER プロデュース第一弾 『S.P.A.M.69』	① 愛知県芸術劇場小ホール ② 12月15日(金) 7:00、16日(土) 2:00 6:00、17日(日) 1:00 5:00 ③ 一般 3,500円(当日3,800円) 高校生以下 2,700円(アルク予約のみ) ④ ☎0567-67-5174 E-mail:info@alk-walk.com 名古屋初のオリジナルヘヴィロックミュージカル! 叫び、突き抜けるために命は在る!
名古屋市文化振興事業団 2007年企画公演 『伯爵令嬢マリツア』	① 芸術創造センター(地下鉄東山線「新栄町」駅下車①番出口を北へ徒歩3分) ② 2月9日(金) 6:30、10日(土) 1:00 6:00、11日(日) 1:00 6:00 ③ S席4,000円 A席3,000円(事業団友の会会員は1割引。前売り扱いのみ) ④ (財)名古屋市文化振興事業団 ☎052-249-9387 オペレッタ白銀の時代の傑作を地元キャストの総力を挙げて上演します。ご期待下さい。



編集発行/平成18年11月25日(年4回)
 名古屋市文化振興事業団 名古屋市演劇練習館(アクテノン)
 〒453-0841 名古屋市中村区稲葉地町1-47
 TEL 052-413-6631 FAX 052-413-6632

※この印刷物は再生紙(古紙100%白色度80%)を使用しています。

